

第2回次期総合振興計画（区の将来像）に係る見沼区検討懇話会 議事要旨

開催日時：2019年1月22日（火）10：00～11：00

開催会場：さいたま市見沼区役所2階大会議室

出席者（懇話会委員）：

芝浦工業大学

磐田 朋子 氏

見沼区民生委員・児童委員協議会

大川 野英子 氏（職務代理）

NPO法人 自然観察さいたまフレンド

小野 達二 氏

さいたま市PTA協議会見沼区連合会

合谷 竜一 氏

春岡地区自治会連合会

齋藤 英一 氏（座長）

NPO法人 見沼ファーム21

島田 由美子 氏

NPO法人 地域人ネットワーク

白瀧 康次 氏

花いっぱい運動推進会見沼区支部

中村 金良 氏

配食サービスひまわり

松本 小枝子 氏

見沼区スポーツ振興会

横田 洋子 氏

大砂土東地区自治会連合会

大河戸 千鶴子 氏

NPO法人 さいたまスポーツクラブ

熊谷 弘子 氏

（事務局：さいたま市）：

見沼区役所：白倉区長、杉山副区長、柳橋区民生活部長、田辺健康福祉部長、小久保総務課長

都市経営戦略部：田中副参事

欠席者（懇話会委員）：

さいたま商工会議所

古川 モト子 氏

片柳地区自治会連合会

三浦 達雄 氏

七里地区自治会連合会

吉田 正信 氏

議題及び公開又は非公開：（議題）見沼区の将来像改定素案たたき台について
（公開又は非公開の別）公開

傍聴者の数：0人

審議した内容：議題のとおり

問合せ先：見沼区役所 区民生活部 総務課 電話番号 048-681-6013

1 開会

2 出席者紹介

前回欠席の大河戸委員及び熊谷委員の紹介があった。

3 意見交換

見沼区の将来像改定素案たたき台について

各委員より、上記議題について、次のとおり意見及び感想を述べた。

・これまでの議論がまとまっていると感じる。4つがリンクしているので、それぞれ単独で行っているのではない、ということを説明しつつ将来像を提示されると良いのでは。

・自然をいかす、見沼区の発展、ということで、シンボルマークの花であるクマガイソウを守っていききたいと思うので、何か考えていただきたい。

道路に穴があるなど、足元から見沼区を見直していく必要があるだろう。

・外来の動植物が増え、在来種が減っているので今後課題になるだろう。

・武道館の利用者が一杯で、気軽にスポーツができる場所が無く、スポーツ施設がもう少しあればと思う。

・前回の議論が反映されており、4つが1つにリンクしていくということをお願いしたい。何かを行うことに対して心が躍動するにさせていただくと、皆が動きやすくなるのでは。皆がワクワクするようなキャッチフレーズがあればと思う。

・前回の議論が反映されていると思う。まちづくりのポイント1にオアシスとあり、オアシスと言えば水辺という印象がある。水辺の整備について具体的に記載することは難しいと思うが、記載してあることは実際に行うようにしていただきたい。

・前回の議論がまとまっていると思うが、記載内容だけが見沼区の内容ではなく、我々も努力していく必要がある。見沼区には道路の問題があり、今後車の量が増えた際に課題になると考えている。見沼区の将来の発展に向けては現在から道路の規制やルールを考えていく必要があると考えている。

・まちづくりのポイント3において、動きたくなる、という表現は見沼区から動く、引っ越してしまう、という印象を受けるので、見沼区で動くなど別の表現が良いのでは。道路や河

川を良くにするにしても近隣区との連携が必要であり、入れても良いのではないか。

・将来像というといつまでのことか分からないので、ある程度年限を設けてやるべきではないか。花いっぱい運動の関係で、サッカー場の近くで花の展覧会をやり、不特定多数の人や外国人等が見学するようにしていただきたい。そして来た人がもう一度見沼区に来たい、住みたいと思うような見沼区にしていきたい。サッカー場への来場にはシャトルバス運行が良いのではないか。JRでは東大宮の駅前あたりを利用していただければと思う。

・住居と自然が調和する、という内容があると良いのではないか。

まちづくりのポイント1の(4)について、「自然エネルギーの活用促進など、環境負荷の少ないまちづくり」という表現はどこでも書いてある表現なので、自然と共存するといった観点の表現が良いのではないか。まちづくりのポイント2の(4)の「地域活動の活性化に向けた環境づくり」について、外国人に対する教育など、地域教育の環境を整備する、といった内容があっても良いのではないか。

・有償でボランティアをやるというのは心がこもらない。ボランティアの精神が一人一人に生まれると良い。今日集まっている皆さんは見沼区の将来に関心が高いと思うが、一般の方は見沼区に対する関心が低く、どうしたら地域に関心を持てただけかが課題であると思う。大谷小学校の通学路の危険性について話し合っている。七里駅前には夕方車で大変込み合っている。足元から見沼区を見つめることで、一つ一つ良くなり区としての未来像が出来上がるのではないか。地域に帰った時に一人一人が関心を持てただければと思う。

・見沼、と言ったときに見沼田んぼをイメージされるのではと心配している。

見沼区で不法投棄が心配されるのであれば、それに関する表記があっても良いのではないか。

・皆の将来像はそれぞれ異なり文字で表すのは難しい。従って写真選びが重要になる。皆がこの様な生活をしたい、ということが反映されるような写真を選ぶ。その中で4つがリンクしていることをイメージさせることができればと思う。そのことにより関心のない方も興味を持つのではないかと感じる。

・まちづくりのポイント1の、見沼の自然を生かし、は、見沼区の自然を生かし、の方が良いのでは。イメージが広がる文言を検討していただきたい。

・見沼の自然は、見沼区全体の自然をイメージしていただきたい。

- ・見沼区の自然と言った場合に、自然が身近に満喫できる場所とそうでない場所があり、地域で見沼区の自然を再発見するようにしていただきたい。

- ・クマガイソウに係る表現を加えるようお願いしたい。

4 閉会